

第1回 裾野市道の駅整備推進協議会を開催しました。

令和7年4月10日(木)に開催された第1回目の協議会は、初回のため、市長から委任状等の交付を行い、市長及び協議会会長の挨拶、各委員やオブザーバーの自己紹介がありました。また、事務局より、「裾野市道の駅整備推進協議会について」「道の駅の制度や最新の動向について」「裾野市道の駅基本構想について」の説明や「利用者ニーズ調査の結果について」の報告がありました。さらに、各委員の道の駅についての思いや考えなどを話し合いました。

第2回以降は、基本構想の整備コンセプトや基本方針、利用者ニーズ調査の結果、市の課題、各委員の意見、需要予測などを慎重に考慮した上で、道の駅に導入する機能や施設について具体的に検討していきます。

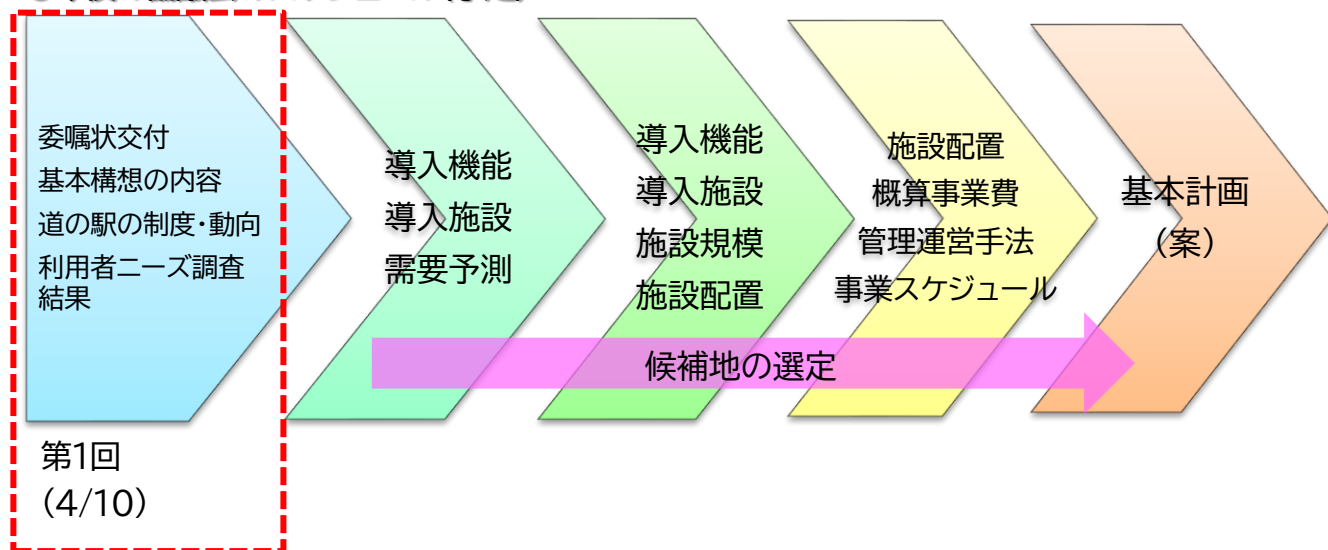
第1回の議事

- ① 裾野市道の駅整備推進協議会について
- ② 道の駅の制度、最近の動向について
- ③ 裾野市道の駅基本構想について
- ④ 利用者ニーズ調査結果について
- ⑤ 道の駅について意見交換



会長挨拶

○今後の協議会のスケジュール(予定)



会議の様子



市長挨拶



会議の様子

第1回 裾野市道の駅整備推進協議会を開催しました。

○委員から出た意見

○成功する道の駅には、「市長などリーダーの強い推進力」「市民の熱意・アイデア」「官民が協力して具現化する力」が必要。

○地域の特性を生かしながら、自由に率直な意見交換を進めたい。

○道の駅は、観光客が「情報を得る」「楽しむ」ための重要な拠点であり、魅力づくりに不可欠。裾野市ならではの強みを引き出し、集客力ある道の駅構想に貢献したい。

○地域資源を生かした商品開発や販売戦略に関して、ものづくり目線から積極的に提案していきたい。

○市民目線で気軽に、かつ積極的に意見を出して協力していきたい。そのためには、裾野市もスピード感を持って計画・実施を進め、地元業者を積極的に使い、地域経済の活性化を図ってほしい。

○地元経済・商工業者が関わり、活性化できるような道の駅を望んでいる。

○裾野市は、観光資源の発信力が弱いいため、道の駅を拠点に観光振興したい。

○道の駅には、地元農産物の販売が不可欠。

○地域農業と道の駅が「win-win」の関係になるよう積極連携したい。

○生産者と密に連携し、道の駅を農業活性化にもつなげたい。

○若い世代や女性目線の意見も重要視し、市内をさらに盛り上げる「ワクワクする施設」づくりを支援したい。

○地元住民も気軽に立ち寄れる、子育て支援機能なども備えた施設が理想。

○子育て中の親目線で、市外に出かけずに市内で楽しめる施設が欲しい。

○地元で活動する市民や団体、企業とのネットワークを活かして、裾野市らしい道の駅づくりを支援したい。

○特に未来を担う中高生世代が「裾野で育って良かった」と思える施設にしたい。

全体を通じて、次のような共通理解が深まりました。

- ✓ 地域資源を活かす
- ✓ 市民・観光客両方に親しまれる
- ✓ 経済・農業・観光を連動させる
- ✓ 若い世代・子育て世代にも配慮